

平成30年度 学校評価アンケート結果分析

岐阜清流高等特別支援学校

1 保護者・学校運営協議会委員対象アンケート結果分析

- ・全35項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が70%以上の項目数は、22項目あった。(H29年度13項目)
- ・C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答比率が30%以上(比率として高いと考えられる)の項目数は、0であった。(H29年度1項目)
- ・「あてはまるA+B」の評価を受けた22項目のうち18項目が「教育方針」「家庭との連携」「教職員」「授業」に関することであり、学校教育の根幹となる重要な項目において肯定的な評価を受けた。
- ・「生徒の安全」「企業連携に基づいた職業教育」「保護者と一体となったPTA活動」などの項目において、70%以上の評価を受け改善が見られた。
- ・E「わからない」の回答割合が20パーセント以上の項目数が7項目あり、これらの取組状況について、保護者に明確に伝える必要がある。(H29年度12項目)

2 生徒対象アンケート結果分析

- ・全20項目の質問に対し、A「よくあてはまる」とB「ややあてはまる」の肯定的な回答割合が70%以上の項目数は、17項目あった。(H29年度18項目)
- ・C「あまりあてはまらない」、D「まったくあてはまらない」といった否定的な回答比率が30%以上(比率として高いと考えられる)の項目数は、0であった。(H29年度0)
- ・概ね良好な結果であるが、生徒の視点を大切にしながら、さらに改善を図っていきたい。

3 考察と課題

- ・アンケートの回収率は、保護者・学校評議員対象アンケートが98.0%、生徒対象アンケートが96.8%であった。
- ・保護者に対する情報提供や説明が十分できていないと思われる項目は減少しているが、さらに改善を図る必要がある項目が明らかになった。
- ・生徒一人一人について、保護者や学校関係者、関係機関等が連携し将来を見据えた支援ができるように、個別の教育支援計画の活用について改善する必要があることが明らかになった。
- ・特に生徒指導や進路指導に関する情報提供については、学校及び家庭生活における最重点課題であるため、より一層の理解啓発が図られるよう改善の必要がある。